

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公開番号】特開2016-144084(P2016-144084A)  
 【公開日】平成28年8月8日(2016.8.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-047  
 【出願番号】特願2015-19571(P2015-19571)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/238 (2006.01)

H 0 4 N 9/04 (2006.01)

G 0 3 B 7/093 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/238 Z

H 0 4 N 9/04 B

G 0 3 B 7/093

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月29日(2018.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体像を撮像して画像データを生成する撮像手段と、  
 輝度が周期的に変化する光源下における前記撮像手段によって撮像された被写体像の色の変動を検出する第1の検出手段と、  
 前記第1の検出手段によって検出された色の変動と、シャッタースピードとに基づいて、前記光源下の位相ごとの色比評価値を算出する第1の算出手段と、  
 前記第1の算出手段によって算出された色比評価値に基づいて、前記撮像手段の露光タイミングを制御する制御手段と、  
 を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記第1の算出手段は、前記光源下の時間的な変動により生じる画面内の色の変動とシャッタースピードによって生じる色の変動とに基づいて前記色比評価値を算出することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前回の撮影で撮影された画像との類似度に基づいて、前記画面内の色の変動と前記シャッタースピードによって生じる色の変動との重みを制御することを特徴とする請求項2に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記光源下における前記被写体像の輝度の変動を検出する第2の検出手段と、  
 前記第2の検出手段によって検出された輝度の変動と、シャッタースピードとに基づいて、前記光源下の位相ごとの輝度比評価値を算出する第2の算出手段とをさらに有し、  
 前記制御手段は、前記第1の算出手段によって算出された色比評価値と、前記第2の算出手段によって算出された輝度比評価値とに基づいて、前記撮像手段の露光タイミングを制御することを特徴とする請求項1～3の何れか1項に記載の撮像装置。

【請求項5】

前記第2の算出手段は、前記光源下の時間的な変動により生じる画面内の輝度の変動とシャッタースピードによって生じる輝度の変動とに基づいて前記輝度比評価値を算出することを特徴とする請求項4に記載の撮像装置。

【請求項6】

前記撮像手段によって生成された画像データに前記被写体像の色の変動に基づいたゲインをかけて補正する補正手段をさらに有することを特徴とする請求項1～5の何れか1項に記載の撮像装置。

【請求項7】

被写体像を撮像して画像データを生成する撮像手段を有する撮像装置の制御方法であって、

輝度が周期的に変化する光源下における前記撮像手段によって撮像された被写体像の色の変動を検出する検出工程と、

前記検出工程において検出された色の変動と、シャッタースピードとに基づいて、前記光源下の位相ごとの色比評価値を算出する算出工程と、

前記算出工程において算出された色比評価値に基づいて、前記撮像手段の露光タイミングを制御する制御工程と、

を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項8】

コンピュータを、請求項1～6の何れか1項に記載の撮像装置の各手段として機能させる、コンピュータが実行可能なプログラム。